

栃原知雄教授年譜・著作目録

<年 譜>

- 明治38年11月 京都市に生まれる
 大正13年3月 大阪府立高津中学校卒業
 昭和5年3月 関西学院文学部英文科卒業
 昭和5年4月 大阪府立天王寺中学校（現在府立天王寺高等学校）教諭
 昭和18年3月 大阪府立第17中学校（現在府立布施高等学校）教諭
 昭和20年9月 大阪府立清水谷高等女学校（現在府立清水谷高等学校）教諭
 昭和20年9月 教員適格審査会格（大阪府）
 昭和20年9月 2級に陞叙する（内閣総理大臣）
 昭和23年4月 大阪府立高津高等学校教諭
 昭和24年4月 大阪府英語教育研究会副委員長を勤める（昭和30年3月まで）
 昭和26年9月 高等学校外国語（英語）1級免許状受領
 昭和32年4月 私立上宮高等学校教諭・関西大学法文学部嘱託講師を兼ねる
 昭和35年4月 関西学院大学社会学部助教授に就任
 昭和40年4月 同教授に昇任（英語，外国語特講，外国文学を担当）
 昭和45年3月 関西学院大学を退職
 昭和45年4月 園田学園女子大学，同短期大学英語専攻科主任教授に就任，関西学院大学社会学部および文学部非常勤講師（英語，外国語特講，西洋文学を担当）

<学界における活動>

- 日本英文学会員 日本アメリカ文学会員
 日本時事英語学会員 大学英語教育学会員
 日本比較文学会員

<著作目録>

—著 書—

- | 書 名 | 出 版 社 | |
|---|---------------|----------|
| How to write Correct English | 文 教 書 院 | 昭和24年6月 |
| Henry James: Four Meetings
(Introduction 訳註) | 山 口 書 店 | 昭和27年3月 |
| 基 準 英 文 法 | 布 井 書 房 螢 光 社 | 昭和30年4月 |
| 基 準 中 学 英 文 法 | 布 井 書 房 螢 光 社 | 昭和36年10月 |

— 学 会 発 表 —

- アメリカ文学とキリスト教
——ヘンリー・ジェームズの場合—— 日本アメリカ文学会
関西支部大会 昭和38年11月
- ヘンリー・ジェームズ研究の問題点
——今後ジェームズをどう読むか—— 日本アメリカ文学会
関西支部大会 昭和42年1月

— 論 文 —

- | 題 目 | 掲 載 雑 誌 | |
|--|--|---------------------------------|
| Henry James 作 the Turn of the Screw の研究
——所謂“Hallucination Theory”をめぐって—— | 関西学院大学
英米文学第2巻第1号 | 昭和31年4月 |
| 劇作家としての Henry James
——“Guy Domville”を中心として—— | 関西学院大学
英米文学第2巻第2号 | 昭和32年4月 |
| Henry James
——劇作家時代
文学における影響の問題
—— Henry James の場合
アメリカ人をどのように読むか
——初期 H. James のロマン主義と清教主義——
心理小説の三つの型 | 関西大学
英学Vol. I No. 5.
関西学院大学
英米文学Vol. IV, No. I. | 昭和33年4月
昭和34年10月 |
| Henry James 1843
——1881—— James (前期) の生涯と作風—— | 関西学院大学
社会学部紀要第3号 | 昭和35年10月
昭和35年11月
昭和36年9月 |
| Henry James と Mary (Minnie) Temple
—— H. James の生涯の作風 —— | 関西学院大学
英米文学 Vol. VI, No. I. | 昭和36年11月 |
| Henry James 国際的テーマ小説の問題点
——1871——1881年の作品と作風——
社会喜劇の悲喜劇的人物
—— H. James 作『アメリカ人』と F. S. Fitzgerald
作『偉大なるギャッピー』の主人公について—— | 関西学院大学
論 攷 第 8 号
関西学院大学
社会学部紀要第5号 | 昭和36年11月
昭和37年7月 |
| Henry James 作 “Watch and Ward” 論
—— この作品の性格と sexuality の問題—— | 関西学院大学
論 攷 第 9 号 | 昭和37年11月 |
| Henry James 作 “The Spoils of Poynton” 論
——人生と芸術・いかに生きるか—— | 関西学院大学
社会学部紀要第7号 | 昭和38年8月 |
| ヘンリー・ジェームズと宗教
——文学作品にあらわれる『宗教意識』と『悪』の問題について—— | 関西学院大学
論 攷 第 10 号 | 昭和38年10月 |
| ジェームズ文学における題材と手法の問題
—— T. S. エリオットのジェームズ論と関連して——
宗教と文学
——ヘンリー・ジェームズの文学にあらわれる宗教意識—— | 関西学院大学
論 攷 第 11 号
基督教文化学会年報第11号 | 昭和39年9月
昭和39年10月 |

- Henry James をいかに読むか
——英米両文学史にまたがる巨匠の位置とその文学について——
関西学院大学
社会学部紀要第9号 10号 昭和39年11月
- James 文学とその批評
——戦前における James 批評の動向と James 褒貶の分岐点——
関西学院大学
英米文学 Vol. IX, No. I 昭和40年4月
- H. James 作 “The Jolly Gorner” 論
——意識と潜在意識の境域をさぐるもの——
社会学部紀要第11号 昭和40年8月
ジェイムズ文学本質解明への
関西学院大学
論 攷 第 12 号 昭和40年10月
——課題——『絵画的手法』とジェイムズ文学における「リアリティ」の意味——
- Henry James 作 “The Ambassadors” 論
——豊衍な想像力と繊細な感受性と『技術』が生む作品——
関西学院大学
社会学部紀要第13号 昭和41年4月
ジェイムズ文学における『自由精神』の問題
関西学院大学
論 攷 第 13 号 昭和41年10月
——個人（人間）関係を探究する小説芸術——
- James 文学にあらわれる女性像
——女性像とその特徴を通してみる女性観——
社会学部紀要第14号 昭和41年12月
- Henry James 研究の問題点
—— James 文学を読む人のために——
関西学院大学
英米文学第11巻第1号 昭和42年1月
ヘンリー・ジェイムズ作『鳩の翼』論
関西学院大学
論 攷 第 14 卷 昭和42年10月
——ヒロインの生き方『無償の行い』を中心の問題として——
- Henry James と Joseph Conrad
——両作家の文学観と小説技法を中心として——
社会学部紀要第15号 昭和42年12月
文学の研究〔I〕
関西学院大学
社会学部紀要第16号 昭和43年3月
——『文学とは何であるか』の難問と「鑑賞・批評」の課題——
- ジェイムズ文学の道徳性
関西学院大学
論 攷 第 15 卷 昭和43年10月
——文学と道徳・この古くて新しい問題——
社会学部紀要第17号 昭和43年11月
文学の研究〔II〕
関西学院大学
社会学部紀要第18号 昭和44年3月
——異質文化接触の問題・外国文学の研究——
社会学部紀要第18号 昭和44年3月
英米文学の研究
関西学院大学
論 攷 第 16 卷 昭和44年12月
——故志賀勝教授の業績と学風——
社会学部紀要第19号 昭和45年1月
文学の研究〔IV〕
関西学院大学
社会学部紀要第20号 昭和45年3月
文学の研究〔V〕
関西学院大学
社会学部紀要第20号 昭和45年3月
——文学と自然・外国（英米）文学と日本文学における自然観（I）——